

第409号 2016年9月16日
弘前大学総務部広報・国際課

学術講演会・研究発表会・公開講座

浪江町 弘前大学 連携協定締結5周年記念講演会の開催について

弘前大学は、平成23年3月11日の東日本大震災に伴う東京電力福島第一原子力発電所の事故により町内の約半分が警戒区域に指定され、町民のほとんどが避難を余儀なくされた福島県浪江町と同年9月29日に連携に関する協定を締結し、町の復興に向けこれまで様々な支援活動を行ってきました。

この度、連携協定締結から5周年を迎えることとなり、下記のとおり記念講演会を開催する運びとなりました。

講演会では、弘前大学の支援活動の概要紹介とともに、福島県浪江町 馬場 有 町長をお招きし、「浪江町の復興の現状」についてご講演いただく予定です。

ぜひ多くの方々に浪江町の現状と復興活動についてご聴講いただきたく、ご案内申し上げます。

【日 時】 平成28年9月29日（木）17時30～19時00分

【場 所】 弘前大学医学部基礎大講堂

【対 象】 教職員、学生、一般の方

【演 題】 「弘前大学による福島県浪江町復興支援活動の概要」
福島県浪江町復興支援プロジェクトワーキンググループ委員長
（弘前大学被ばく医療総合研究所教授） 床次 眞司

「浪江町の復興の現状」
福島県浪江町長 馬場 有

【主 催】 弘前大学放射線安全総合支援センター

【その他】 入場無料、事前申込みは不要です。お気軽にご参加ください。

【問い合わせ先】

弘前大学被ばく医療総合研究所事務室

TEL: 0172-39-5401

E-mail: jm5401@hirosaki-u.ac.jp

浪江町 弘前大学
連携協定締結5周年記念講演会

日時 平成28年9月29日(木)
 17:30～19:00

場所 弘前大学医学部基礎大講堂
事前準備があまり多くないので、公共交通機関をご利用ください。
 教職員、学生、一般の方、多数のご参加をお待ちしております。

写真提供 浪江町

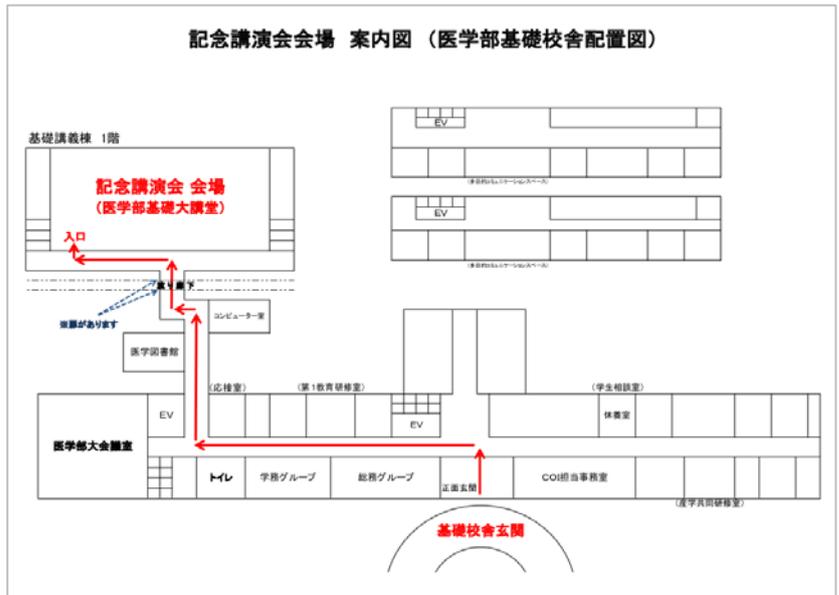
プログラム

17:30～17:35
 学長挨拶
 国立大学法人弘前大学長 佐藤 敬

17:35～18:00
 「弘前大学による福島県浪江町復興支援活動の概要」
 福島県立総合支援センタープロジェクトマネージャー 佐藤 敬
 (弘前大学附属医療総合研究所教授) 床次 義司

18:00～19:00
 「浪江町の復興の現状」
 福島県浪江町長 馬場 有

主 催 弘前大学放射線安全総合支援センター
 問い合わせ先 弘前大学 核ばく医療総合研究所
 TEL:0172-39-5401 FAX:0172-39-5514
 E-mail: jn5401@hirosaki-u.ac.jp



“The 3rd Educational Symposium on RADIATION AND HEALTH by Young Scientists” (ESRAH2016) のお知らせ

大学院保健学研究科では、平成28年10月1～2日の2日間にわたり、「第3回若手研究者のための放射線と健康に関する教育シンポジウム」を下記の通り、北海道大学大学院保健科学院を会場に開催いたします。

国内外の著名な研究者から教育講演をいただくとともに、全国各地の若手研究者によるポスターセッションが行われます。様々な分野で、「放射線と健康」をキーワードにした活動を展開している研究者が集い、国際的に活躍できる人材の育成を目指した情報交換が期待されます。

多数の皆様のご参加をお待ちしております。

- 日 時：平成28年10月1日(土)～2日(日)
 1日目 12:00～21:00
 2日目 9:00～11:45
- 会 場：北海道大学大学院保健科学院 E-108
 〒060-0812
 札幌市北区北12条西5丁目
- URL：<http://esrah2016info.wix.com/hhem>
- お問い合わせ先：〒036-8564 弘前市本町66-1
 弘前大学大学院保健学研究科
 担当：辻口 貴清 TEL:0172-39-5961
 E-mail: r_tsuji@hirosaki-u.ac.jp

資料2

ESRAH2016
 3rd Educational Symposium on RADIATION AND HEALTH by young scientists (ESRAH2016)
 Hokkaido University, Multi-Purpose Hall 1F (Main Conference Room)
 SAPPORO, HOKKAIIDO, JAPAN
 October 1st- October 2nd, 2016
 Symposium Programme In ESRAH2016

2016/8/29

Saturday, October 1		
12:00	13:00	Registration
13:00	13:10	Opening remarks
Educational Lecture I		
13:10	14:10	
14:10	14:25	Break
Invited Talk I		
14:25	14:55	Narongchai Autsavapromporn, Ph.D. Chiang Mai University, Thailand
Invited Talk II		
14:55	15:25	Tamotsu Kozaki, Ph.D. Hokkaido University, Japan
15:25	15:40	Break
Educational Lecture II		
15:40	16:40	Kevin Kelleher, Ph.D. Environmental Protection Agency, Ireland
16:40	17:00	Break
Poster Presentation by young scientists		
17:00	18:30	Titles
18:30	19:00	Break
19:00	21:00	Banquet
Sunday, October 2		
Educational Lecture III		
9:00	10:00	Makoto Akashi, M.D., Ph.D. National Institutes for Quantum and Radiological Science and Technology, Japan
10:00	10:15	Break
Invited Talk III		
10:15	10:45	Thitip Tippiyamontri, Ph.D. Université de Sherbrooke, Canada
Invited Talk IV		
10:45	11:30	Tibor Kovacs, Ph.D. University of Pannonia, Hungary Emilija Fidanchevska, Ph.D. Ss Cyril and Methodius University in Skopje, Macedonia
11:30	12:00	Award ceremony and closing remarks

2016年度 第2回弘前大学機器分析センターセミナー開催のお知らせ

弘前大学機器分析センターでは、走査型電子顕微鏡および透過型電子顕微鏡の基本的な原理とアプリケーションに関するセミナーを開催します。専門家にわかりやすく解説していただきますので皆様方の多数のご参加をお待ちしております。

1. 日時： 2016年10月 5日（水）14:30～17:30
2. 場所： 弘前大学工学部1号館 4階 8番講義室
3. 対象： 教職員，学生，一般の方
4. 入場： 無料
5. 内容：

<内容>

i) 「TEMによる像観察と分析の基礎と最新技術」

日本電子（株）EM事業ユニット 参事 近藤 行人 氏

ii) 「SEMで何が分かるのか？ SEMの基礎知識と応用，極表面情報を捉える最新技術」

日本電子（株）SM事業ユニット SMアプリケーション部 IT 山本 康晶 氏

<お問い合わせ>

弘前大学機器分析センター長 岡崎 雅明

電話：0172-39-3565 E-mail: mokazaki@hirosaki-u.ac.jp

<お申し込み先>

弘前大学機器分析センター 事務局

電話：0172-39-3913 E-mail: kiki@hirosaki-u.ac.jp

※事前予約なしでの当日のご参加も可能ですが、準備の都合上、受講を希望する方の氏名，所属，電話番号を明記の上，電子メールによりお申し込みください。

「第16回青森糖質研究会」開催のお知らせ

「青森糖質研究会」は、青森県の糖質科学研究の振興と教育の向上，さらに産業の発展に寄与することを目的として平成9年に発足し，産学官の研究者や技術者をはじめとする多くの人の交流・親睦を深める勉強会を開催するなど，諸活動を続けております。

平成28年度は「糖質資源の加工と機能性研究－豊かな食産業の発展に向けて－」をテーマに6講演が行われます。

1. 日時：平成28年10月7日（金）13:00～17:55
（受付開始12:00～）

2. 会場：弘前大学文京キャンパス 大学会館 3階 大集会室
（〒036-8560 青森県弘前市文京町1番地 Tel: 0172-39-3113）

3. 対象：一般市民，弘前大学学生・大学院生・教職員，多数の参加をお待ちしております。

4. 講演：13:05～17:50

1. 新技術紹介「地域資源の商品化を支援する分析技術」

横澤 幸仁 氏（地方独立行政法人 青森県産業技術センター 弘前地域研究所）

糖質資源の加工と機能性研究
-豊かな食産業の発展に向けて-
平成28年10月7日 金
13:00~17:55 (受付開始 12:00~)
会場：弘前大学 文京キャンパス大学会館 3階 大集会室
参加費：無料
対象：一般市民，弘前大学学生・大学院生・教職員，
多数の参加をお待ちしております！

講演者紹介
講演 1 13:05~13:50 「地域資源の商品化を支援する分析技術」
横澤 幸仁 氏 (地方独立行政法人 青森県産業技術センター 弘前地域研究所)
講演 2 13:50~14:35 「サクランボの加工と機能性への応用」
三上 雅夫 氏 (青森県立弘前大学 農学工学部 食品工学科 准教授)
講演 3 14:35~15:20 「糖質資源の加工と機能性への応用」
横澤 幸仁 氏 (地方独立行政法人 青森県産業技術センター 弘前地域研究所)
講演 4 15:25~16:20 「赤い糖質資源の加工と機能性への応用」
横澤 幸仁 氏 (地方独立行政法人 青森県産業技術センター 弘前地域研究所)
講演 5 16:20~17:05 「赤い糖質資源の加工と機能性への応用」
横澤 幸仁 氏 (地方独立行政法人 青森県産業技術センター 弘前地域研究所)
講演 6 17:05~17:50 「赤い糖質資源の加工と機能性への応用」
横澤 幸仁 氏 (地方独立行政法人 青森県産業技術センター 弘前地域研究所)

実行委員
委員長：青森県糖質研究会 会長 横澤 幸仁
副委員長：弘前大学糖質研究会 会長 横澤 幸仁
事務局：弘前大学糖質研究会 事務局 横澤 幸仁
〒036-8560 青森県弘前市文京町1番地 Tel: 0172-39-3113

2. 「サケ鼻軟骨（氷頭）の加工と調理への応用」
三上 統生 氏（学校法人 弘前城東学園 弘前医療福祉大学短期大学部）
3. 「紫黒米へミセルロース加水分解物の免疫強化作用 ―基礎と応用―」
前田 浩明 氏（オリジン生化学研究所）
4. 「水溶性食物繊維ペクチンは腸管上皮細胞表面のヘパラン硫酸糖鎖構造変化を誘導する」
矢部 富雄 氏（岐阜大学 応用生物科学部）
5. 日本調理科学会奨励賞受賞記念
「米粉パンの製パン性向上と老化（硬化）遅延に関して」
伊藤 聖子 氏（静岡県立大学 食品栄養科学部）
6. 日本応用糖質科学会 技術開発賞受賞記念
「サケ鼻軟骨由来熱水抽出プロテオグリカンの素材化および日焼け抑制効果を有した美容食品の開発」
後藤 昌史 氏（サンスターグループ ヘルス&ビューティーカンパニー）
7. 参加費： 無料（交流会は 一般：3,000円，学生：1,000円）
8. 主催：青森糖質研究会（会長 加藤 陽治）
共催：ひろさき産学官連携フォーラム，日本応用糖質科学会東北支部
後援：（公財）水谷糖質科学振興財団
9. 申込方法：下記お問い合わせ先へお申し込みください。＊当日参加も可
10. URL：<http://www.med.hirosaki-u.ac.jp/~biochel/aotouken/aotouken.htm>

※研究会終了後（18：10～20：00），弘前大学生協 レストラン・スクーラム（大学会館2階）にて交流会を行います。当日参加も受け付けております。

お問い合わせ先：青森糖質研究会事務局
弘前大学大学院医学研究科 附属高度先進医学研究センター
糖鎖工学講座内 担当：柿崎 育子
電話：0172-39-5542
E-mail：kaki@hirosaki-u.ac.jp

**保健学研究科 被ばく医療人材育成推進委員会主催
第1回放射線看護セミナー
「あなたも基礎から学んでみませんか！
看護師に必要な放射線の基礎」開催のお知らせ**

本研究科博士前期課程では、平成27年4月より「放射線看護高度看護実践コース」を開設し、放射線や放射線防護に関する専門的知識を基盤とし、画像診断や核医学診療、IVR診療、放射線治療、さらには被ばく医療に関して高度な看護実践ができる人材育成を目指し教育を行っております。また、放射線看護に関する様々な教育支援も行っております。

これまで平成25年度から年1回のセミナーを開催して参りましたが、このたび新たな組織で放射線看護セミナーを開催することにいたしました。

第1回目は放射線看護に携わる看護師のため、放射線の基礎を分かりやすく解説するとともに、放射線診療における被ばく管理について理解を深めることを目的としています。

第1回放射線看護セミナー
あなたも基礎から学んでみませんか！
看護師に必要な放射線の基礎

日時 平成28年10月8日 13:50～16:25
場所 CIC東京 東京工業大学キャンパス
東京都港区芝浦
J京山学館・京浜東北線田町駅下車・徒歩1分

対象
放射線看護や放射線検査に興味・関心のある医療職者（先着80名程度）
◆このセミナーは認定看護師（全分野）自己研鑽ポイント加算対象です。

プログラム
◆教育講演（各60分）
1. 明日から役立つ「放射線・放射線防護の基礎」
弘前大学大学院保健学研究科 助教 小山内 暢 先生
2. 「放射線過敏症」について考える：放射線を正しく恐れるために
埼玉医科大学医学部放射線科 教授 田中 淳司 先生
◆放射線看護高度看護実践コースの教育について（15分）
弘前大学大学院保健学研究科 教授 野戸 結花 先生

お申し込み方法・お問い合わせ先
下記のURLから申込み書をダウンロードしてお申し込みください。
弘前大学大学院保健学研究科 高度実践被ばく医療人材育成プロジェクト
<http://www.hs.hirosaki-u.ac.jp/~hibaku/>
◆参加費無料・事前申し込み制
◆申し込み締切：9月30日（金）
主催 弘前大学大学院保健学研究科 被ばく医療人材育成推進委員会

1. 日 時： 平成28年10月8日（土） 13時50分～16時25分（質疑応答を含む）
2. 場 所： 東京工業大学キャンパスイノベーションセンター（CIC東京）1階 国際会議室
（東京都港区芝浦3-3-6）
3. テーマ： 「あなたも基礎から学んでみませんか！ 看護師に必要な放射線の基礎」
4. 対 象： 放射線看護に興味・関心のある医療職者（先着80名程度）
※申込先着順で定員に達し次第、申し込み受付終了とさせていただきます。
5. プログラム：
 - 13:50～13:55 開会の挨拶
 - 13:55～14:55 教育講演1 ● 明日から役立つ「放射線・放射線防護の基礎」
弘前大学大学院保健学研究科 助教 小山内 暢 先生
 - 14:55～15:05 休憩
 - 15:05～16:05 教育講演2 ● 「放射線過敏症」について考える：放射線を正しく恐れるために
埼玉医科大学医学部放射線科 教授 田中 淳司 先生
 - 16:05～16:20 放射線看護高度看護実践コースの教育について
弘前大学大学院保健学研究科 教授 野戸 結花 先生
 - 16:10～16:20 閉会の挨拶
6. 参加費： 無料
7. 申し込み方法： Eメールによる事前申し込みとなります。
●下記URLから申し込み手続きを行ってください。
高度実践被ばく医療人材育成プロジェクト <http://www.hs.hirosaki-u.ac.jp/~hibaku/>
8. 申し込み締切： 9月30日（金）
9. 主 催： 弘前大学大学院保健学研究科 被ばく医療人材育成推進委員会
10. お問い合わせ先： 弘前大学大学院保健学研究科 総務グループ（担当：桑田，中野）
電話：0172-39-5518 E-mail：hiro.rns@hirosaki-u.ac.jp

2016年弘前大学白神研究会 秋の観察会「秋の二ツ森と津軽西海岸」開催のお知らせ

- ▽と き：10月9日（日）午前8時～10月10日（月）午後5時
- ▽コ ー ス：二ツ森（標高1086m，秋田県山本郡藤里町）登山～深浦町弘前大学深浦ハウス宿泊～
津軽西海岸 大間越～行合崎（青森県深浦町）
- ▽集 合：8時弘前大学正門集合です（車のない方はお申し出下さい）。
- ▽参加人数：15名
- ▽対 象：小学4年生以上（小中学生は保護者同伴）
- ▽服装・装備：服装はハイキング用で十分です。手袋，帽子があるといいです。雨具は必ずお持ち下さい。上下別の合羽が理想的です。傘は不向きです。履き物は，トレッキングシューズ，ハイキングシューズあるいは長靴がいいでしょう。虫除け，かゆみ止めをお持ち下さい。一日目のお弁当，飲み物も適宜，宿泊用具。
- ▽参加費用：1人2000円（テキスト・傷害保険代金）*会員の方は1000円：二日分
- ※ この他に宿泊代¥2000/一泊および食費¥1000/一泊程度の実費がかかります。
- ▽主 催：弘前大学白神研究会
- ▽問い合わせ
弘前大学農学生命科学部 白神研究会事務局・本多 Tel/Fax 0172-39-3812
E-mail：honda@hirosaki-u.ac.jp

▽申 込：弘前大学白神自然環境研究所
 (山岸Tel/Fax 0172-39-3706)
 E-mail: hyama@hirosaki-u.ac.jp
 ▽締 切 日：最終申込日は10月5日(水)ですが、定員に
 なり次第締め切ります。

2016年 弘前大学白神研究会 秋の観覧会

秋の二ツ森と津軽西海岸

▽と き 10月9日(日)午前8時～10月10日(月)午後5時
 ▽コース 二ツ森(標高1086m、秋田県山本郡碓氷町)登山～深浦町弘前大学
 深浦ハウス宿泊～津軽西海岸 大間越～行合崎(青森県深浦町)
 ▽集 合 8時弘前大学正門集合です(車のない方はお申し出下さい)。
 ▽参加人数 15名
 ▽対 象 小学4年生以上(小中学生は保護者同伴)
 ▽服装・装備 服装はハイキング用で十分です。手袋、帽子があると便利です。
 雨具は必ずお持ち下さい。上下別の合羽が理想的です。傘は向きです。履き物
 は、トレッキングシューズ、ハイキングシューズあるいは長靴が良いでしょう。
 虫除け、かゆみ止めをお持ち下さい。一日目のお弁当、飲み物も適宜、宿泊用具。
 ▽参加費用 1人2000円(テキスト・傷害保険代金)＊会員の方は1000円：二
 日分
 ※この他に宿泊代¥2000/一泊および食費¥1000/一泊程度の実費がかかります。
 ▽主 催 弘前大学白神研究会
 ▽問い合わせ
 弘前大学農学生命科学部 白神研究会事務局・本多 Tel/Fax 0172-39-3812
 E-mail: honda@hirosaki-u.ac.jp
 ▽申 込 弘前大学白神自然環境研究所(山岸Tel/Fax 0172-39-3706)
 E-mail: hyama@hirosaki-u.ac.jp
 ▽締切日 最終申込日は10月5日(水)ですが、定員になり次第締め切ります。



弘前大学白神研究会

第18回家庭でできる看護ケア教室開催のお知らせ

弘前大学医学部附属病院看護部主催で、市民の方を対象に
 第18回家庭でできる看護ケア教室を開催します。

毎年テーマを替えて開催しており、今回のテーマは、「今
 すぐできる脳卒中予防！～まずは血圧測定からはじめよう
 ～」です。

入院とならないよう、血圧について一緒に学んでみませんか！

たくさんの方のご参加をお待ちいたしております。

1. 日 時：平成28年10月28日(金)
13:30～15:30
2. 場 所：弘前大学医学部附属病院 看護部研修室
3. 対 象：市民の方
4. 参加費：無料
5. 申込期間：平成28年10月3日(月)～10月24日(月)
平日 8:30～17:00
6. 申 込 先：弘前大学医学部附属病院 総合患者支援センター
TEL 0172-39-5337 担当：木村 淑子

家庭でできる 第18回 看護ケア教室

**テーマ：今すぐできる脳卒中予防！
～まずは血圧測定からはじめよう～**

脳卒中で入院した方の声です。
 「血圧計はあるけれど実際に測ったことはない」「自分なりに
 塩分には気をつけていたのに」「まさか自分が脳卒中になると
 は思っていなかった」・・・
 入院とならないよう、血圧について学んでみませんか！

**開催日 平成28年10月28日(金)
13:30～15:30**

講師：脳卒中リハビリテーション看護認定看護師 福岡幸子

○場所：弘前大学医学部附属病院内 看護部研修室
 ○募集人員：市民の方30名(先着順)
 ○参加費：無料(病院駐車場は有料となります)
 ○申込期間：平成28年10月3日(月)～10月24日(月)
 平日 8:30～17:00
 ○申 込 先：弘前大学医学部附属病院 総合患者支援センター
 Tel 0172-39-5337 担当：木村 淑子

「弘前大学COIヘルシーエイジングイノベーションフォーラム2016」開催のお知らせ(再掲)

弘前大学COI研究推進機構は、9月23日(金)に“弘前大学COIヘルシーエイジングイノベーションフォーラム”を開催いたします。本拠点がめざす「健やかに老いる社会」の実現に向けて、国民の健康寿命延伸とQOL(生活の質)・GNH(幸福度)向上をめざし、世界最大級の超多項目健康ビッグデータを活用した最先端研究成果等を紹介し、これらを活用した新たな産業創出・社会実装のあり方などを第一線の産学官関係者が結集して熱く議論します。

お申込みお待ちしております。(参加無料)

弘前大学COI
ヘルシーエイジングイノベーションフォーラム
健康「ビッグデータ」研究最前線
-超多項目「ビッグデータ」解析で「健康・認知症」の未来を予測する！-

日 時： 2016年9月23日（金）13:00～17:00（交流会～19:00）
場 所： 一橋講堂・大ホール（東京都千代田区一ツ橋2-1-2 学術総合センター）
定 員： 500名
参加費： 無料
申 込： 以下項目①～⑧をご記入の上、メールをお送りください。
または申込書（チラシPDFにリンクしてください）をFAXしてください。



※【9月20日（火）まで】希望者多数の場合、先着順とさせていただきます。

- ① 会社名・団体名 ② E-mail ③ TEL ④ FAX ⑤ 部署名
⑥ 役職名 ⑦ 参加者氏名（フリガナ） ⑧ 交流会（参加・不参加）

※交流会費は3,000円程度を予定。

送信先： 弘前大学COI研究推進機構 宛
メール： coi_info@hirosaki-u.ac.jp
FAX： 0172-39-5205

平成28年度地域未来創生センターフォーラムのお知らせ

平成28年度地域未来創生センターフォーラム
市民と文化財「博物館的想像力 渋沢敬三と今和次郎 ー民具学・考現学と青森県ー」

1. 日 程： 平成28年9月24日（土）13:00～16:30
2. 場 所： 弘前大学人文社会科学部 多目的ホール
3. 主 催： 弘前大学人文社会科学部 地域未来創生センター
4. 後 援： 青森県教育委員会, 弘前市教育委員会, 三沢市教育委員会,
東奥日報社, 株式会社 陸奥新報社, デーリー東北新聞社
5. 対 象： 100名
一般市民, 行政関係者(教育・観光・地域活性化等の担当者),
学生
6. 参加料： 無料
7. 申込み： 不要・当日の参加が可能
8. 問い合わせ先： 弘前大学人文社会科学部
地域未来創生センター
住所：青森県弘前市文京町1
電話：0172-39-3198 E-mail: irrc@hirosaki-u.ac.jp
平日 9:00～15:00



9. プログラム
- 司会 渡辺麻里子（弘前大学人文社会科学部教授）
- 13:00～13:10 開会の挨拶 弘前大学 副理事 曾我 亨
- 第1部
- 13:15～14:15 （特別講演）天理大学文学部 准教授 丸山 泰明
- 第2部
- 14:30～16:05 県内博物館関係者によるご報告
- 16:05～16:20 市民と語る
- 16:20～16:30 閉会の挨拶 弘前大学人文社会科学部 教授 渡辺 麻里子

平成28年度前期 弘前大学大学院人文社会科学部研究科
FD公開発表会開催のお知らせ(再掲)

日時：2016年9月28日(水) 14:30～17:10(予定)

会場：人文社会科学部棟4階 多目的ホール

内容：人文社会科学部研究科(修士課程)の大学院生の研究発表

一発表者と発表題目一

鈴木 翔貴 (文化科学専攻2年)

「Except Syntax —The Analysis of English Prepositional System—」

汪 思宇 (文化科学専攻2年)

「日本語の程度副詞「もっと」と中国語の程度副詞「更」の対照」

崔 蘭 (文化科学専攻2年)

「王朝文学における後朝(きぬぎぬ)の和歌について」

木村 信秀 (応用社会科学専攻2年)

「地方消費税の設計と市町村財政」

当研究科の大学院生の研究活動や研究内容にご関心をお持ちの方は、お気軽にご参加ください。

※入場無料、事前の申込は不要です。

【問い合わせ先】

弘前大学人文社会科学部 総務グループ教務担当

TEL: 0172-39-3941

E-mail: jm3941@hirosaki-u.ac.jp

弘前大学大学院
人文社会科学部研究科
Hirosaki University Graduate School
of Humanities and Social Sciences

平成28年度前期
FD公開発表会
(修士課程 研究発表会)

大学院の研究に関心のある方、入学を考えている方など、学部生、大学院生、教職員、社会人のみなさまのご参加をお待ちしております。

日時
9月28日(水) 14:30～

場所
人文社会科学部棟4階
多目的ホール

事前申し込みは不要です。
お気軽にご参加ください。

お問い合わせ
弘前大学人文社会科学部教務担当
電話 0172-39-3941
E-mail jm3941@hirosaki-u.ac.jp

プログラム

14:30 開会の辞

14:40～15:10
氏名 鈴木 翔貴
題目 Except Syntax
—The Analysis of
English
Prepositional
System—

15:20～15:50
氏名 汪 思宇
題目 日本語の程度副詞
「もっと」と中国語の
程度副詞「更」の
対照

16:00～16:30
氏名 崔 蘭
題目 王朝文学における
後朝(きぬぎぬ)
の和歌について

16:40～17:10
氏名 木村 信秀
題目 地方消費税の設計
と市町村財政

平成28年度総合情報処理センター
研究開発成果発表会のお知らせ(再掲)

【概要】

総合情報処理センターでは、学内の教職員を対象に平成7年度から研究開発課題の公募を行っており、近年はセンターが管理・運用を行っている情報基盤システムの全学的な活用方法の充実を図るため、情報セキュリティ対策、教育での活用方法、事務の効率化等を公募のテーマとしています。

研究開発成果は、総合情報処理センター広報誌「HIROIN」に掲載し、ウェブページを通じて全国に公開しており、それに加えて毎年度「研究開発成果発表会」を開催しています。今年度は、第1部で平成27年度に採択された2件の研究開発課題について研究開発成果の発表を行い、第2部では学内情報システムの一元的管理や学内情報発信の全学的運動・連携体制と事務組織のあり方に関する意見・要望等について討論会を行いますので、皆様のご参加をお待ちしております。

平成28年度総合情報処理センター
研究開発成果発表会

総合情報処理センターでは、学内の教職員を対象に平成7年度から研究開発課題の公募を行っており、近年はセンターが管理・運用を行っている情報基盤システムの全学的な活用方法の充実を図るため、情報セキュリティ対策、教育での活用方法、事務の効率化等を公募のテーマとしています。

研究開発成果は、総合情報処理センター広報誌「HIROIN」に掲載し、ウェブページを通じて全国に公開しており、それに加えて毎年度「研究開発成果発表会」を開催しています。今年度は、第1部で平成27年度に採択された2件の研究開発課題について研究開発成果の発表を行い、第2部では学内情報システムの一元的管理や学内情報発信の全学的運動・連携体制と事務組織のあり方に関する意見・要望等について討論会を行いますので、皆様のご参加をお待ちしております。

プログラム

●センター長挨拶 …13:30～13:35

●第1部 成果発表 …13:35～14:15

・「金学情報基盤システム構築を志向したeポートフォリオ評価方法論の開発」
片岡 俊一 氏(理工学研究科 専攻)

・「多様なデバイスを活用した発展的ペーパーレス会議システムの提案と検証」
松谷 秀哉 氏(医学研究科 講師)

●第2部 討論会 …14:15～15:00

「学内情報システムの一元的管理や学内情報発信の全学的運動・連携体制と事務組織のあり方」

会場：総合情報処理センター4階 計算機研究室
9/29(水)
13:30～15:00

お問い合わせ
総合情報処理センター
TEL: 0172-39-3722 FAX: 0172-39-3722 E-mail: cc-info@ml.hirosaki-u.ac.jp

【日時・会場】

平成28年9月29日（木）13：30～15：00
総合情報処理センター4階 計算機システム研修室

【対象者】

本学教職員・学生 ※事前申込み不要

【発表者】

理工学研究科 准教授 片岡 俊一 氏
医学研究科 講師 松谷 秀哉 氏

【プログラム】

司会進行 佐藤 友暁（総合情報処理センター教育広報専門委員長）
開会挨拶（13：30～13：35） 葛西 真寿（総合情報処理センター長）

第1部：成果発表（13：35～14：15）

「全学情報基盤システム構築を志向したeポートフォリオ評価方法論の開発」

片岡 俊一 氏（理工学研究科 准教授）

「多様なデバイスを活用した発展的ペーパーレス会議システムの提案と検証」

松谷 秀哉 氏（医学研究科 講師）

第2部：討論会（14：15～15：00）

「学内情報システムの一元的管理や学内情報発信の全学的連動・連携体制と事務組織のあり方」

【主催】

弘前大学総合情報処理センター

【問い合わせ先】

弘前大学総合情報処理センター

Tel：0172-39-3721 E-mail：cc-staff@ml.hirosaki-u.ac.jp

2016年度第1回弘前大学機器分析センターセミナー開催のお知らせ（再掲）

弘前大学機器分析センターでは、「X線回折法の基礎と応用」に関するセミナーを開催します。専門家にわかりやすく解説していただきますので、皆様方の多数のご参加をお待ちしております。

1. 日時： 2016年 9月30日（金）14：00～17：00
2. 場所： 弘前大学 理工学部2号館 2階 11番講義室
3. 対象： 教職員，学生，一般の方
4. 入場： 無料
5. 内容：

i) 「単結晶X線構造解析の基礎と応用」

（株）リガク応用技術センターRODグループ 松本 崇

単結晶構造解析は低分子化合物から蛋白質の3次元立体構造を明らかにする手法です。セミナーでは、R-AXIS RAPIDを使用して単結晶構造解析を行おうと思われている方や、知識を深めたいと思っている方を対象に、基礎から構造解析に必要な知識について解説します。また、最新装置での測定をライブデモにてご紹介します。

ii) 「X線回折法による材料評価」

（株）リガク応用技術センターXRD解析グループマネージャー 紺谷貴之

X線回折法の基本原理，この手法でわかること，解析の実際など，実材料の解析事例を交えて紹介します。デスクトップ型回折系での測定事例の他，汎用機での薄膜材料評価なども紹介します。

※事前予約なしでの当日のご参加も可能ですが、準備の都合上、受講を希望する方の氏名、所属、電話番号を明記の上、電子メールによりお申し込みください。

【お問い合わせ】

弘前大学機器分析センター長 岡崎雅明
電話：0172-39-3565 E-mail: mokazaki@hirosaki-u.ac.jp

【お申し込み先】

弘前大学機器分析センター 事務局
電話：0172-39-3913 E-mail: kiki@hirosaki-u.ac.jp

平成28年度第4回弘前大学起業家塾の開催のお知らせ（再掲）

このたび、弘前大学研究・イノベーション推進機構では、レンタルラボ等のインフラを活用し、学生や研究者を対象に、実際の起業家等による講演及びワークショップを中心とした起業家育成プログラムを実施し、起業への意識醸成を図り、起業（VB）の促進、研究シーズ等を活用した起業家の育成及びイノベーションの創出を目指す弘前大学起業家塾（全6回予定）を下記の内容にて開催します。

皆様のご参加をお待ちしております。

開催期間：平成28年10月13日（木）

開催時間：18:00～20:00

会場：弘前大学総合教育棟2階 大会議室

参加費：無料

ワークショップ：

「マーケティングの本質を実感するワークショップ」
四元マーケティングデザイン研究室
代表 四元 正弘 氏

弘前大学研究・イノベーション推進機構HP

<https://www.innovation.hirosaki-u.ac.jp/kigyoukajyuku>

※参加を希望される方は、所属・役職・氏名を記入の上、下記メールアドレスへご連絡ください。

問い合わせ先：弘前大学研究推進部研究推進課 担当：山本
TEL：0172-39-3912
FAX：0172-39-3919
E-mail: sangaku@hirosaki-u.ac.jp

弘前大学資料館企画展示について（再掲）

弘前大学資料館では第12回企画展として「弘前大学の考古学-弘大考古のあゆみとその成果-」10月29日（土）まで開催いたします。

弘前大学の考古学研究の歴史は昭和33（1958）年からもうすぐ60年の節目を迎えます。これを機に、弘前大学の考古学が地域に果たしてきた役割を研究者内外に伝えていくため、旧制弘前高等学校時代からの関連貴重資料をふくめた企画展を開催いたします。これまでの弘前大学の考古学研究を振り返りつつ、研究者だけではなく、一般の方やこれからを担う世代にも、弘前大学における考古学研究を知って頂く機会としたいと考えております

みなさまのご来館をお待ちしております。

○弘前大学資料館第12回企画展

「弘前大学の考古学-弘大考古のあゆみとその成果-」

会 期：平成28年8月1日（月）～平成28年10月29日（土）
（日・祝・休日は休館）

※10月16日（日）、10月23日（日）は特別開館いたします

時 間：10：00～16：00

場 所：弘前大学資料館

本件問い合わせ先

・弘前大学資料館

電話：0172-39-3432 E-mail：jm3432@hirosaki-u.ac.jp

・弘前大学人文社会科学部文化財論 関根達人

電話 0172-39-3221 E-mail：sekine@hirosaki-u.ac.jp

※ポスターでは会期を平成28年10月30日（日）としておりますが、正しくは上述のとおり平成28年10月29日（土）までですのでご注意ください。



学 内 掲 示 板

学長オフィスアワー中止のお知らせ

学長と本学学生・教職員が直接対話する機会を設けるため、学長オフィスアワーを毎月第1金日及び第3木曜日に実施しておりますが、下記日程のオフィスアワーを中止しますのでお知らせいたします。

【中止】 9月15日（木）

【実施】 9月20日（火）15：00～17：00

問い合わせ先：

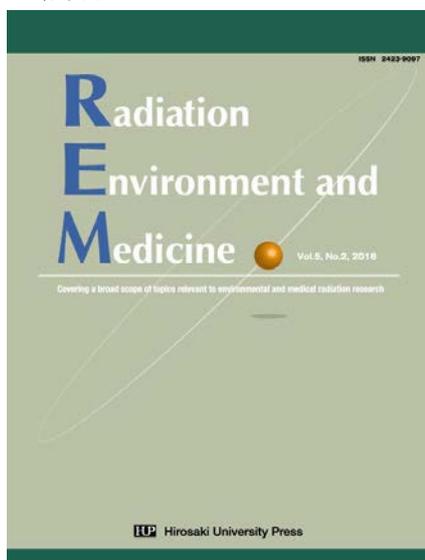
弘前大学総務部総務課（秘書室） TEL：0172-39-3004

URL：http://www.hirosaki-u.ac.jp/president/officehour.html

弘前大学出版会から新刊のご案内

Radiation Environment and Medicine 編集委員会 編「Radiation Environment and Medicine Vol.5 No.2」(A4変形判・62頁、定価1,188円：税込)を出版しました。

～紹介文～



弘前大学は、さまざまな原子力関連施設が立地する青森県における唯一の総合大学として、万が一の事態に際して地域の安心・安全を確保するため、被ばく医療に関連する取組みを推進してきました。平成22年度から平成27年度まで、「被ばく医療プロフェッショナル育成計画」を青森県との連携・協力事業として実施し、この事業の一環として、緊急被ばく医療に関連する研究成果の共有および情報発信を目的に、平成24年3月に被ばく医療に関する学術誌Radiation Emergency Medicine を発刊しました。本誌は、世界に発信しグローバルなつながりの中で研究を深めていくために、英文での発行としました。

第5巻1号から、より広い分野からの投稿に対応する目的で、誌名をRadiation Environment and Medicineに改めました。

第5巻2号には、放射線計測・線量評価・生物影響・放射線看護等の領域における論文に加えて、鹿児島大学大学院医歯学総合研究科の秋葉澄伯先生による特別寄稿、韓国原子力医学院と弘前大学との核テロ対応共同訓練の報告が掲載されています。

今後も、放射線防護、線量評価、生物影響、放射線計測、被ばく医療教育、放射化学分析、放射線看護、疫学調査、臨床研究など放射線科学の幅広い分野にわたる論文を掲載していく予定です。皆様からの投稿をお待ちしております。※本誌は英文表記となります。

ご興味をお持ちの方は大学生協または市内の書店でお買い求め下さい。

国立大学協会情報誌「国立大学」について

本学が会員となっている「一般社団法人 国立大学協会」では、各国立大学の現状や優れた取り組みなどを分かりやすくまとめた国立大学協会情報誌「国立大学」を作成しています。

「国立大学第39号」では、授業や課外活動に真剣に取り組む学生、グループの活動の紹介する「今、学生は！」のコーナーにおいて、本学のサークル「H・O・T Managers」が紹介されています。ぜひご覧ください。

H・O・T Managers掲載「国立大学第39号」

<http://www.janu.jp/report/koho/39gou.html>

最新号「国立大学第41号」

<http://www.janu.jp/report/koho/41gou.html>

下記URLより最新号を含め、今まで発行されたバックナンバーをご覧いただけます。

<http://www.janu.jp/report/>

その他、第36号・第31号・第28号・第25号・第23号・第22号・第18号において、本学記事が掲載されていますのでご覧ください。

編集担当から：講演会、研究発表会、部局行事等の掲載原稿を発行予定日（毎月1日と16日の2回）の7日程度前までに、下記担当にご提供ください。お待ちしております。

◎担当：総務部広報・国際課広報・国際グループ

E-mail: jm3012@hirosaki-u.ac.jp FAX:39-3498 内線:3029